

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

光干渉断層像(OCT)における狭窄率と冠血流予備量比(FFR)および瞬時血流予備量比(iFR)の関係について

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年4月1日から2019年2月28日までに、当院において心臓カテーテル検査を施行し、光干渉断層像(OCT)および冠血流予備量比(FFR)、瞬時血流予備量比(iFR)を測定している患者さんを対象としています。

2. 研究目的・方法

近年、経皮的冠動脈形成術は、様々な手法によって虚血評価を行いエビデンスに基づいた治療が行われています。瞬時血流予備量比(iFR)に関する大規模臨床試験であるDEFINE FLAIRでは、1年後のMACE(心血管死、非致死的心筋梗塞、入院を要する不安定狭心症・心不全・脳卒中・その他の心血管イベント)は、iFR群とFFR群で有意差がないことが報告され注目を集めています。しかし、FFRとiFRはプラークの性状や各冠動脈において結果が異なることを経験します。そこで、血管内腔のプラーク性状や狭窄率を評価できる光干渉断層像(OCT)を用いて狭窄率とFFRおよびiFRとの虚血評価の関連性を検討します。

研究期間

「医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、病院長の研究実施許可を得てから
2020年 3月 31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2017年4月1日から2019年2月28日までに、当院において心臓カテーテル検査を施行し、光干渉断層像(OCT)および冠血流予備量比(FFR)、瞬時血流予備量比(iFR)を測定している患者さんのデータの中から、性別、年齢、診断名、身長、体重、既往歴、X線画像、CT画像、血管撮影画像を調査対象としております。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院 放射線技術部

氏名：橘高 大介

住所：東京都品川区旗の台1-5-8

電話番号：03-6426-3122

研究責任者：橘高 大介